

## 工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

### 【工事事故(速報)発生状況】 (H26.1.31現在)

	1月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成25年度(今年度)	6件	63件	1人	29人
平成24年度(昨年度)	3件	85件	1人	32人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

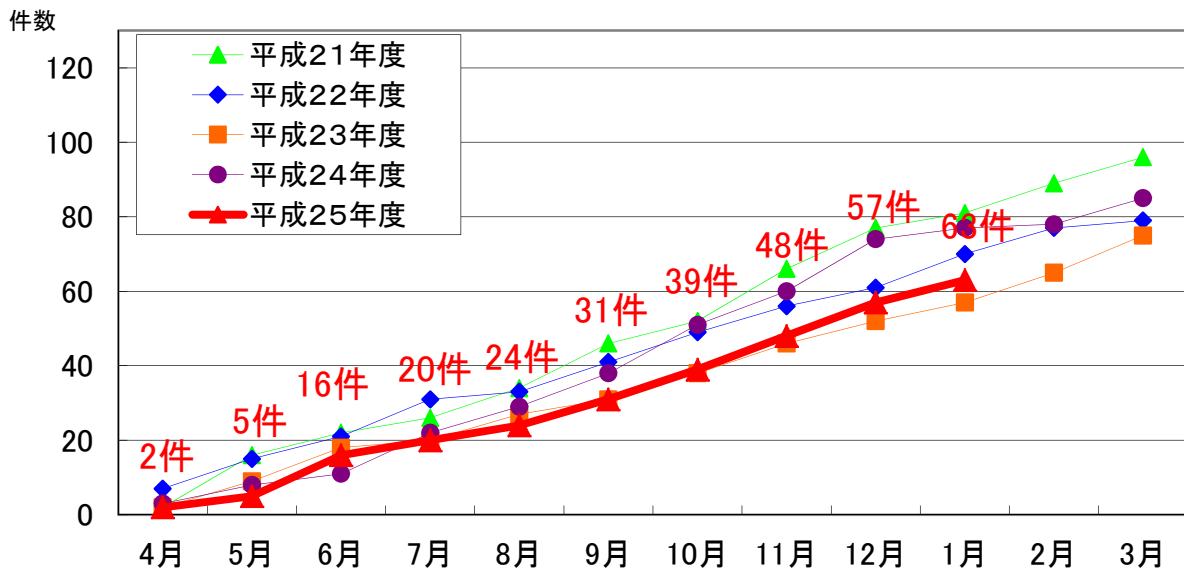
注2) 「1月発生件数」は、1/1～1/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

注5) 平成25年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

#### ●工事事故件数



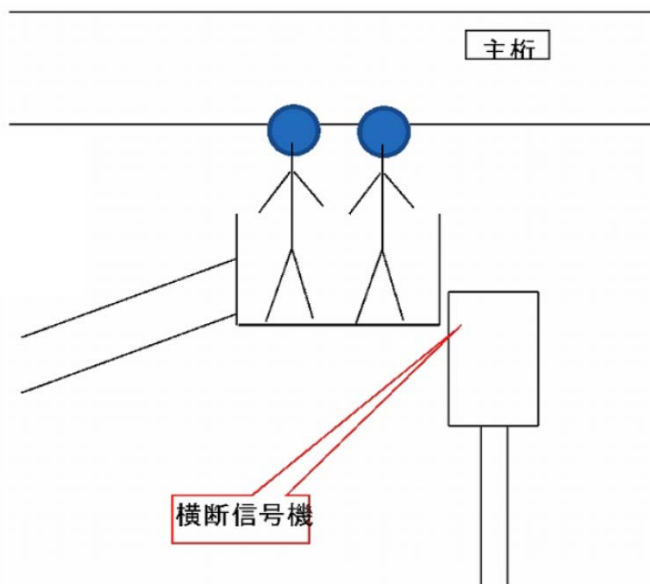
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成21年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	16件 (14件)	22件 (6件)	26件 (4件)	34件 (8件)	46件 (12件)	52件 (6件)	66件 (14件)	77件 (11件)	81件 (4件)	89件 (8件)	96件 (7件)
平成22年度 累計 (月毎)	7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	65件 (8件)	74件 (9件)
平成24年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	11件 (3件)	22件 (11件)	29件 (7件)	38件 (9件)	51件 (13件)	60件 (9件)	74件 (14件)	77件 (3件)	78件 (1件)	85件 (7件)
平成25年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	5件 (3件)	16件 (11件)	20件 (4件)	24件 (4件)	31件 (7件)	39件 (8件)	48件 (9件)	57件 (9件)	63件 (6件)		

※なお、平成21年度工事事故より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。



発生日時	平成 26 年 1 月 16 日 ( 木 ) 9 時 50 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 業務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	—	—	—	歩行者用信号機損傷		
事故概要	高架橋の桁下点検にあたり、リフト車のブーム旋回時にバケットの下端が歩行者用信号機に接触して損傷させたもの。					
	公衆損害—第三者の負傷・第三者車両に対する損害					

## 事故発生状況



・橋梁点検を行うため、カラーコーン等を用いて交通規制を開始した。

・交通誘導員の誘導で、高所作業車(バケット式)を規制帯内の桁下に移動し、固定した。

・支承部の点検のため、バケットを信号機の上部に移動した。

・支承部の点検が終了し、バケットを移動しようとした際、信号機と接触した。



### 【事故発生原因】

- ・近接構造物に対する注意喚起不足
- など

### 【事故防止のポイント】

- ・周辺構造物等に接触の恐れがある箇所では、作業手順等をよく検討し、周知徹底を行う。
- ・必要に応じて、誘導員の配置等を行う。
- など

発生日時	平成 26 年 1 月 18 日 (土)			14 時 0 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 機械設備工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	46	鳶工	左手挫創、左手首・指骨折		
事故概要	排水樋管開閉装置更新のため、旧開閉装置の撤去作業を実施していたところ、吊り上げた機械台(2t)が200mmの高さから落下し、機械台とコンクリート床面との間に手を挟まれ負傷したものの。 労働災害—運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷					

## 事故発生状況

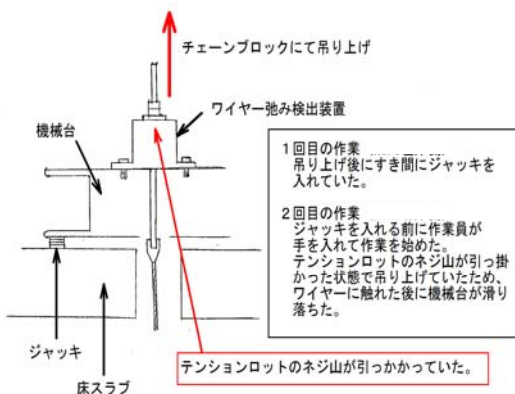


・ゲート機械台の解体作業中、ゲートワイヤー(長さ1m位)を切断するため、作業員がチェンブロック(2t)でワイヤー緩み検出装置を吊り、機械台を200mm程度浮かせてジャッキを隙間にいれようと、ジャッキを取りに行った。

・その間に、作業員(被災者)がジャッキを入れる前に機械台とコンクリートの間に手を入れて、ワイヤーを引っ張り出そうとした時、機械台が滑り落ち、左手を挟まれた。



ジャッキを入れる前に手を入れた。



### 【事故発生原因】

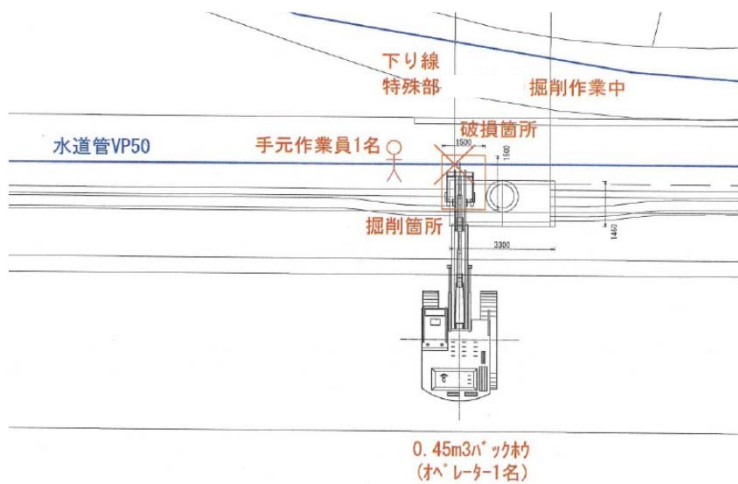
・ジャッキを入れて安定を確認後に機械台下での作業を開始する作業手順となっていたが、ジャッキを入れる前に機械台下の作業を開始した。  
など

### 【事故防止のポイント】

・作業手順の周知・徹底を行う。  
など

発生日時	平成 26 年 1 月 20 日 ( 月 ) 10 時 30 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	—	—	—	水道管損傷(民家2軒に供給)	
事故概要	電線共同溝施工のため、バックホウで土砂掘削作業中に、水道管φ50mmを損傷させたもの。損傷した水道管は2軒の民家に供給していた。				
公衆損害—地下埋設物件損傷					

### 事故発生状況



- ・電線共同溝特殊部設置のため、手元作業員1名とバックホウオペレータ1名の計2名で土砂掘削作業を実施していた。
- ・敷設済みの上水道管をバックホウのバケット部で土砂と一緒に掻き上げ、損傷させた。
- ・当日の作業は、上水管の上面約30cm程度に埋設シートが位置する筈との指示により、それを目安に掘り続けたが、埋設シートを見つけた時点は上水管の上約10cmであり、それを発見した時は既にバックホウが両者を掻き上げ、折れた上水管から水が噴き出した。



#### 【事故発生原因】

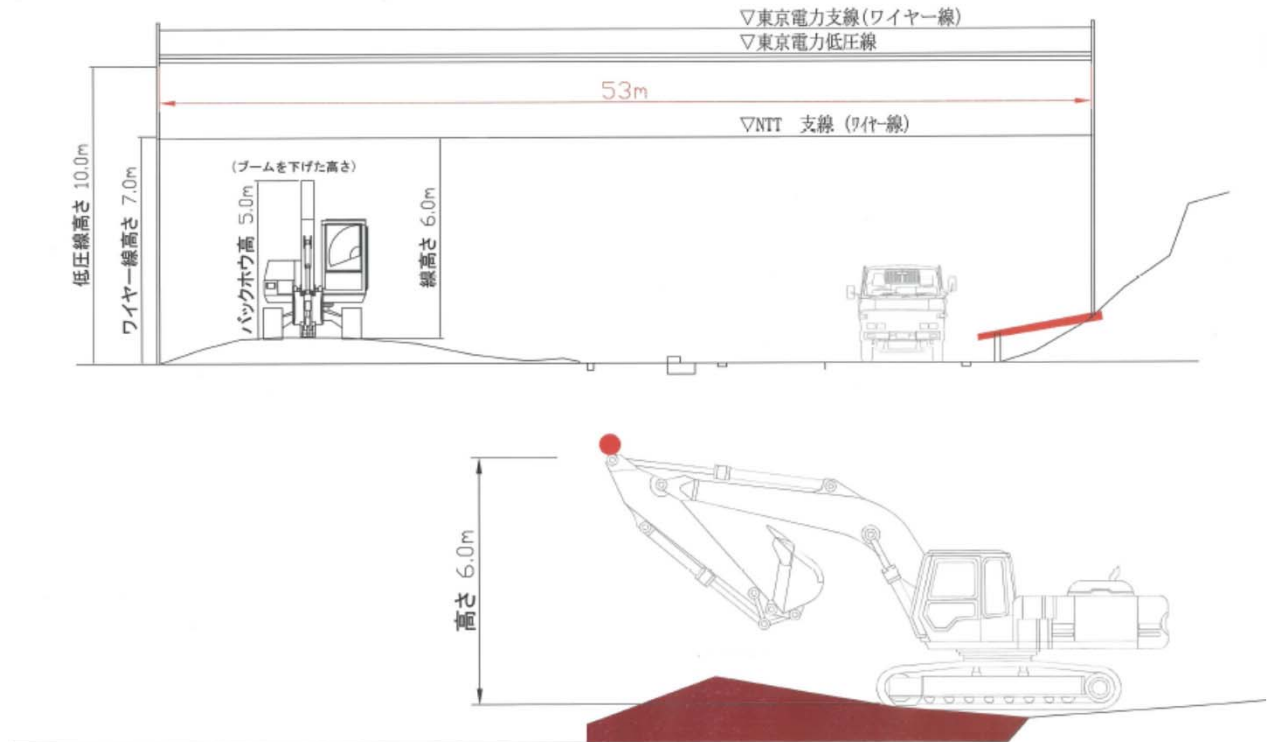
- ・地下埋設物に対する注意不足 など

#### 【事故防止のポイント】

- ・地下埋設物が予想される箇所では、作業前に試掘等を実施し、作業は慎重に行う。 など

発生日時	平成 26 年 1 月 25 日 (土) 14 時 50 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	—	—	—	電柱倒壊、国道片側通行止め(約1時間30分)	
事故概要	国道沿いの発生土置場にて発生土の積込搬出作業を行っており、バックホウにて発生土の積込を行うため自走していた際に、架空線にブームが引っかかり、電柱を倒した。電柱は国道側に倒れ、一時片側通行止めとなった。 公衆損害—架空線・標識等損傷				

## 事故発生状況



- ・バックホウ(0.7m<sup>3</sup>)を用いて10tダンプトラックに残土を積み込み搬出を行っていた。
- ・積み場の残土がなくなったので敷地置くの残土山を崩すために敷地を横断していた支線の下を走行し残土側へ移動した。
- ・搬出していた10tダンプトラックが戻ってきたので積み込みを行う為に支線の下を走行しようとし、バックホウのブームが支線と接触したために支線に引っ張られ上り線側の引き込み柱が車線側に転倒した。
- ・その影響で、国道が一時、片側通行止めとなった。

### 【事故発生原因】

- ・バックホウのブームが下がりきって  
いなかった。  
など

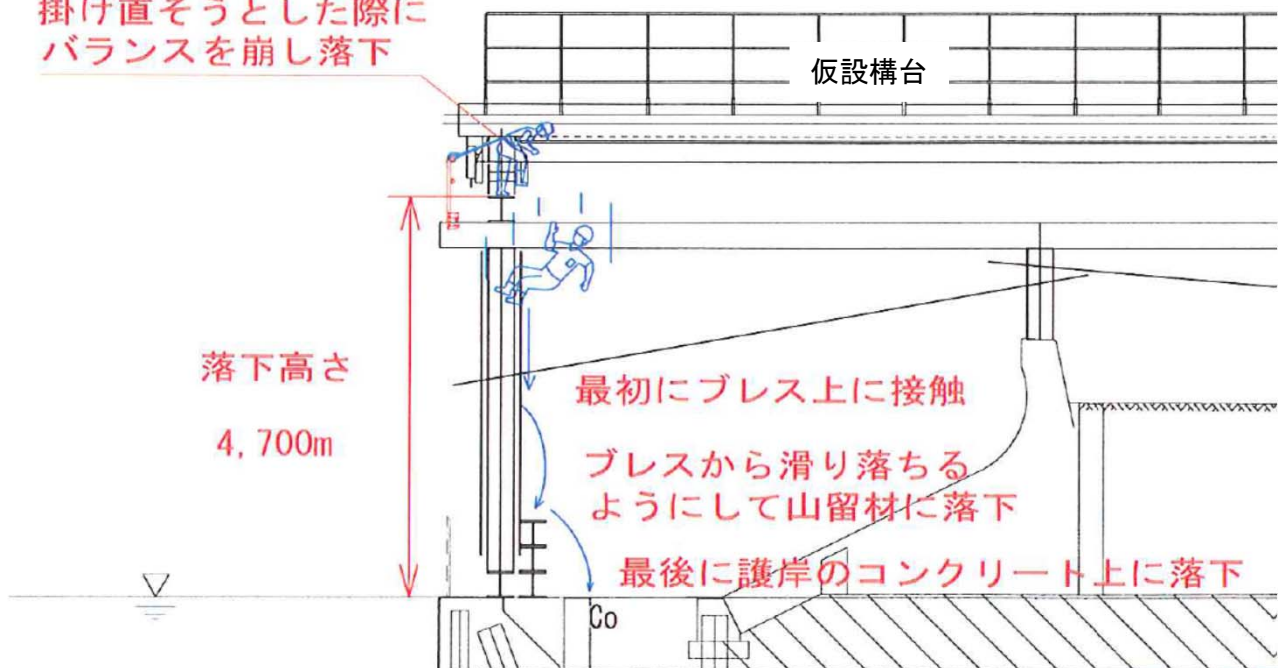
### 【事故防止のポイント】

- ・架空線等付近にてバックホウを移動する  
際はアームを下げることを徹底する。  
など

発生日時	平成 26 年 1 月 27 日 ( 月 ) 11 時 48 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	65	地盤改良工	左肩鎖骨骨折(全治28日)	
事故概要	地盤改良工を施工するための仮設構台施工中に、作業員が仮設構台から4.7m転落し、負傷したもの。				
	労働災害-墜落				

## 事故発生状況

ボルト締付け完了後、  
移動する為に安全帯を  
掛け直そうとした際に  
バランスを崩し落下



### 【事故発生原因】

- ・墜落に対する注意不足。  
など

### 【事故防止のポイント】

- ・安全帯の二丁掛けを行う。  
など

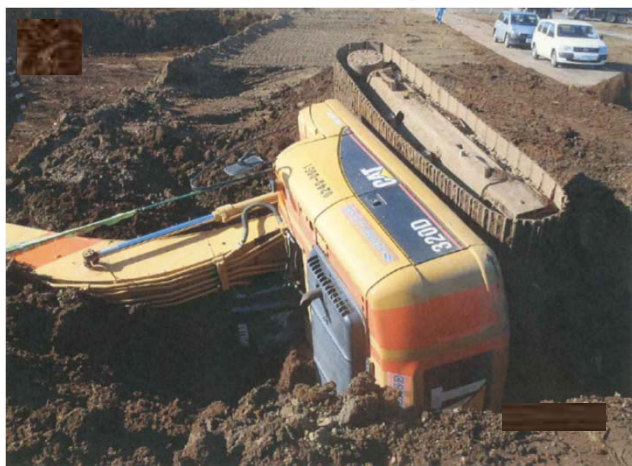
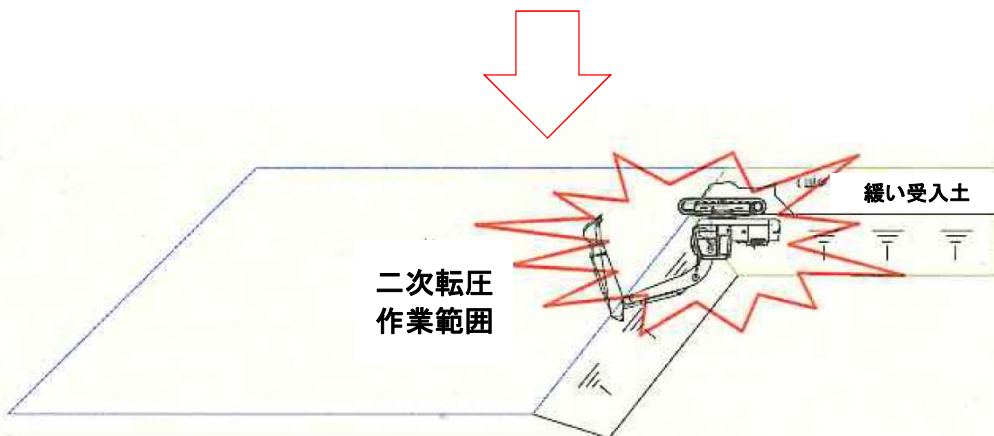
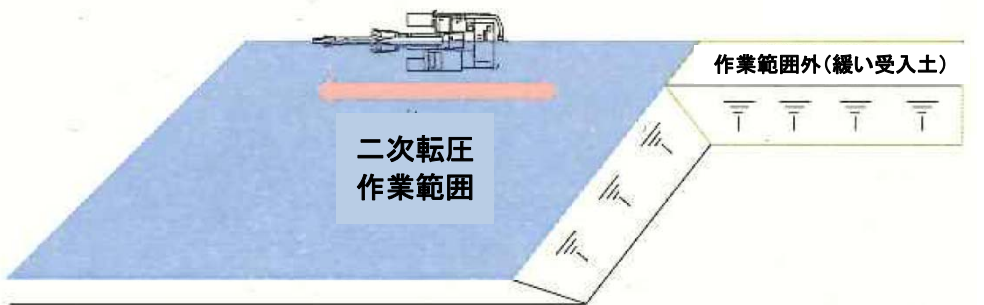
・地盤改良項を施工するための仮設構台施工中に、作業員が仮設構台から転落し、負傷した。

・当時、被災した作業員は、仮設構台のボルト締め作業を実施しており、作業が終了し、移動するため、安全帯を掛け替えようとした。

・安全帯を掛け替えるため、立ち上がった際、バランスを崩し、転落した。

発生日時	平成 26 年 1 月 31 日 ( 金 )	8 時 40 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	バックホウ転倒
事故概要	バックホウにて土を締め固める作業を行っており、キャタピラでの転圧作業中、転圧作業範囲外の緩い土の山へ誤って後退し、緩い土の山が崩壊し、バックホウが転倒したものの。			
	その他事故			

### 事故発生状況



・仮置土整備工事において、バックホウで受入土を窪地へ振り分け、締め固める作業(一次転圧:バケット、二次転圧:キャタピラ)を行っていた。

・二次転圧作業中、転圧作業範囲外の緩い受入土の山へ誤って後退した結果、緩い受入土の山が崩壊し、バックホウが転倒した。

**【事故発生原因】**  
 ・重機の足場の確認不足  
 など

**【事故防止のポイント】**  
 ・重機の転倒、転落の危険がある箇所は目印の設置や誘導員の配置などを行う。  
 など